

# 青少年もがみ

第17号 平成25年2月1日  
— 発行 —  
最上地区青少年育成連絡協議会



## 「地域の『絆』を大切に、共に育つ」

最上地区青少年育成連絡協議会会長 矢口 信一

「最上は好き？これからの元気な最上を考える」をテーマに、12月8日、最上地区青少年育成連絡協議会が、同地区青少年育成懇談会を開催しました。

明日の最上を担う青少年が心身ともに健やかで、人間性・社会性豊かに成長し、地域や社会の中で、自主的に行動する一員になれるよう願いを込めながら、地域全体が一丸となって健全育成に取り組んでいます。過疎化の影響で最上の人口は昭和35年に12万5千人でしたが、平成23年には8万3千人と激減しました。そのような中で、最上地域に居住する高校生が、「最上に何を思い、何を求め、この地域を元気にするために、どこへ向かって歩もうとしているのか」を知る手がかりとして、高校生32名、首長・教育長4名、そして、青少年育成関係者49名が、6グループに分かれて懇談しました。

この懇談会において、高校生達から「大人や親たちが、生き生きと新庄祭りの山車作りやお囃子の練習、地域文化の伝承活動、自然保護観察活動等をしており、地域全体が輝いて見える」との発言がありました。人との交わり、繋がり、協働するなどの体験や感動を共有することを通して、若い人たちが最上を好きになるのではないかと思います。また、農業が基幹産業である最上地域では、あらゆる知恵を絞って、これまで積み重ねてきた汗と苦勞を土台にして、最上地域特有の雇用創出に地区民一体となって取り組むことが期待されました。

「大人が変われば、子どもも変わる」、子どもたちは大人（親）の背中を見て育ちます。これまでより一層、力強く、広く、暖かい背中を見せる努力を積み重ね、子どもの手本となるモラル・マナーの向上運動を皆さんと一緒に推進したいと思います。

### 平成24年度 これまでの主な事業 ※青少年もがみ第16号掲載以降

#### 少年の主張最上地区大会

9月4日（火）9：30～12：20 最上町立最上中学校  
○最上地区内14中学校から1名ずつ出場（男子6名・女子8名）し、うち5名が9月の最北地区ブロック大会への出場権を得る。

- 最優秀：戸沢中3年 水口 日和
- 優 秀：及位中3年 齋藤 音々
- 優 良：日新中3年 佐藤 歩
- 萩野中3年 齋藤 杏佳
- 最上中1年 花井 李成

#### 全国「子ども・若者育成支援強調月間」

11月1日（木）～30日（金）  
○趣旨：子ども・若者の健やかな育成、子ども・若者が社会生活を円滑に営むことができるようにするための支援や取り組みを行う。  
○取組み：『大人が変われば子どもも変わる』運動と兼ねて、各市町村で強調運動を展開。最上総合支庁では、庁内放送で職員や来庁者に呼びかけ、また、広報車による最上地区内街頭広報活動を実施。

#### 最上地区「青少年育成推進員研修会」

11月17日（土）14：00～鮭川村「中央公民館」  
○育成推進員の永年表彰（最上総合支庁長名）  
金山町：高橋一裕氏、大野正美氏  
真室川町：山田茂寿氏、織田吉昭氏

鮭川村：林 昭氏 戸沢村：早坂信一氏  
○講演「米集落の環境保全と農業のつながり」  
講 師：鮭川村米地区区長 阿部 清氏  
○参加者：青少年育成推進員等45名、来賓等3名

#### 最上地区「青少年育成懇談会」

12月8日（土）9：10～ 新庄市民プラザ

- テーマ「最上は好き？これからの元気な最上を考える」
- 高校生と青少年育成関係者85名が参加
- 50文字提案を基に6グループで懇談
- 高校生の感想「最初は長いかと思ったら、とても楽しくあっという間に終わりました」、「高校生と大人が懇談する機会はないので、様々な考えを聞くことができ勉強になりました」、「田舎の良いところ、悪いところを知ることができました」



最上地区「青少年育成推進員研修会」



最上地区「青少年育成懇談会」